

神戸大学大学院国際協力研究会および

『六甲台論集－国際協力研究編－』のご案内

2023年6月17日

私たち神戸大学大学院国際協力研究会は、2000年4月1日に発足しました。当研究会は神戸大学大学院国際協力研究科の大学院生によって運営され、研究業績を発表する場として院生紀要（学術論文集）である『六甲台論集－国際協力研究編－』の公刊を行なっています。毎年、執筆予定者による研究報告会などを開催し、今年度は近日に最新刊となる第23号を刊行する予定となっております。

国際協力研究会は、自主的運営によって当研究科大学院生間相互の研究・交流を促進することを目指しています。また、前述のごとく、『六甲台論集－国際協力研究編－』発行やその前提となる研究報告会の開催など、研究成果公表の機会を所属院生に提供することを通じて、研究科全体の発展にも寄与していきたいとも考えています。私たち大学院生を含めた研究者の研究は、公刊されて初めて評価の対象とされます。本論集は全国約150の大学・研究機関に納入されており、私たちの研究成果を広く世に問うファーストステップとして認知されています。

なお、当研究会に関するご質問・ご意見等がございましたら、下記の研究会編集委員会メンバー宛てへお気軽にお問い合わせください。

神戸大学大学院国際協力研究会 2023年度編集委員会

会 長 劉 子瑩 （国際協力政策専攻）

■代表 e-mail : g6ronsyu@gmail.com

付録：国際協力研究科大学院生と学術雑誌

1. 『六甲台論集—国際協力研究編—』（年1回刊）

国際協力研究会発行の院生紀要。博士後期課程在籍の大学院生が研究会編集委員となり、博士前期・後期の大学院生が納入する会費によって自主運営されている。『六甲台論集—国際協力研究編—』は、修士論文の次に目指すべきステップとして位置づけられ、修士論文における研究成果を公刊して世に問うための貴重な場ともなっている。なお、『六甲台論集』は神戸大学六甲台キャンパスにある各大学院共通の誌名であり、法学研究科・経済学研究科・経営学研究科においても各編が刊行されている。

2. 『国際協力論集』（年3回刊）

国際協力研究科が刊行する学術雑誌。研究科所属の教員が論文を掲載するメディアであると同時に、指導教官の推薦を受けた大学院生が査読を経て論文を掲載することもできる。博士後期課程の院生にとっては、博士論文を執筆する過程で研究成果の一部を公表する場として第二の目標と位置づけられる。

『国際協力論集』は、刊行されると第V学舎1Fの掲示板に告知され、4F共同資料室で各自受け取ることができる。

3. その他、学外の学術雑誌

学外の学会などが発行している学術雑誌。研究分野・領域に応じて種々多様な学会があり、その数だけ学会誌も発行されている。博士後期課程へ進学した人にとっては、こうした学外の学会・研究会・フォーラムなどでの研究報告や学会誌への投稿・掲載もまた、大きな目標となってくる。

4. 博士論文執筆・著書刊行

博士後期課程進学を目指している人は、ここまで到達するのがとりあえず最終的な目標となる。ちなみに、博士論文は「公表された著作物」として扱われ、大学図書館などで閲覧に供されることになっている（修士論文は基本的に公表扱いとはされない）。